

ご利用者の状況によるスタッフの感染対策および訪問対応の目安

ご利用者の状況 (同居者・付き添い者含む)			スタッフの対応（○印は防護具を着用します）				
			マスク	保護メガネ または フェイスシールド	エプロン 手袋	サービス 内容	備考
発熱 咳 倦怠感等 いずれも 症状なし	マスク有り	換気 ○	○			予定通り	
		換気 ×	○			予定通り	換気及び加湿をさせていただきます。
	マスク無し	換気 ○	○			予定通り	マスク着用をお願いします。
		換気 ×	○	○		予定通り	マスク着用のお願い、換気及び加湿をさせていただきます。
発熱 咳 倦怠感等 いずれか 症状あり	マスク有り	換気 ○	○	○	○	必要最小限	※左記症状がみられる場合は、保健所 (072-841-1326) 又は主治医にご相談下さい。 マスク着用のお願い、換気及び加湿をさせていただきます。
		換気 ×	○	○	○	必要最小限	
	マスク無し	換気 ○	○	○	○	必要最小限	
		換気 ×	○	○	○	必要最小限	

- ・換気は1時間に10分程度の空気の入替えをお願いいたします（対面2か所以上の窓、扉の開放が望ましい）。
- ・部屋の湿度を保つため、加湿器のご使用や衣類の部屋干し、浴室の開放、部屋に濡れたタオルを掛けるなどのご協力をお願いいたします。
- ・ご利用者の状態に合わせ防護具を選択しますが、持ち合わせていない場合はサービスを一旦中止させていただきますのでご了承ください。
- ・発熱、咳、倦怠感等の症状がある場合には、サービス提供時間は必要最小限とさせていただきますのでご了承ください。

濃厚接触者の考え方

枚方市の濃厚接触の考え方（R3.1.27 現在）

濃厚接触があったかどうかを判断する上で重要な要素は「距離の近さ」「時間の長さ」の2点で、下記の状況で感染者（発症2日前から）と接触していた場合、個々の状況も踏まえ総合的に判断。マスクの適切な使用や咳エチケットといった必要な感染予防策を行わず、対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度）で15分以上会話するなどの接触があった。感染者と同居または長時間の接触（車内・航空機内等を含む）があった者。

ヘルプケア・クレド 電話：072-809-0051 担当：管理者 笹谷



感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



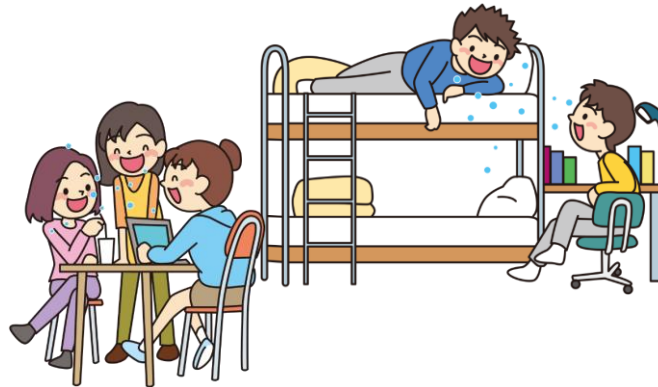
場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



令和3年2月1日

ご利用者 及びご家族の皆様

一般社団法人CREDO

ヘルプケア・クレド

＜新型コロナウイルス感染症予防のお願い＞

日頃は、ヘルプケア・クレドのヘルパー派遣をご利用くださいますようお願いいたします。
現在、大阪府において緊急事態宣言が発令され、感染者が増加しております。
当事業所におきまして職員一同、感染対策の予防強化に努めてまいります。
ご利用者のご家庭におかれましても「新しい生活様式」を実践いただき、ヘルパーを受入れの際は、下記のとおり、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

ご利用者・ご家族皆さまへのお願い

- ①ご自宅で検温をいただき発熱があった場合には、ヘルパーの訪問前に事業所にご一報ください。
- ②スタッフから訪問時にご利用者やご家族に発熱等の症状がないか、確認をさせていただきます。
- ③ヘルパーの受け入れの際は、ご利用者、ご利用者ご家族の皆様にもマスクの着用をお願いします。
また、ケア中においては、1時間に約10分程度の換気させていただくことをご了承ください。
- ④ご利用者が、新型コロナウイルス感染症を疑われた場合は、保健所や主治医と相談をしながら対応させていただきます。他のご利用者への感染を予防するため、症状によってはヘルパー派遣を中止させていただくか、訪問を1日の最後の時間に変更させていただくことがあります。
- ⑤ご家族に発熱等の症状がある場合は、ヘルパーが訪問し、ご利用者様へのサービス中は、別室にて待機していただきますようお願い致します。

＜相談窓口一覧＞

○新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）

かかりつけ医やお近くの医療機関が閉まっているときや、どこに連絡していいかわからないときはこちらへ。

電話 072-841-1326（24時間対応） ファックス 072-841-5711

（平日午後5時30分以降および土・日、祝日に受付したものは翌日（平日）の回答になります）

※ファックス・メールフォームでのお問い合わせは回答に時間を要します。現在の健康状態について
すぐ相談したい場合には電話をご利用ください。

関連資料配布について

- 厚生労働省「新しい生活様式」の実践例（A4片面）
- 感染リスクが高まる「5つの場面」（A4片面）
- ご利用者の状況によるスタッフの感染対策及び訪問対応の目安

以上



コロナウイルスの 病気を 広げないための 大阪府からの お願い



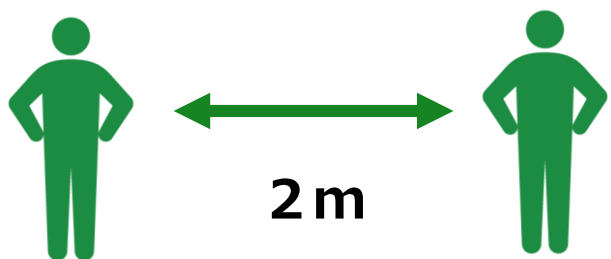
生活で 気をつけること

次の 場所には 行かない

窓が 開けられない 狭い ところ
人が たくさん 集まる ところ
人と人が 近くで 話をするとこ



人と人の 間は 2m



人と人の 間を 2mくらい あける

マスクをする

体の 具合が 悪くなくても
マスクをする



手や 顔を 洗う

家に 帰ったら 手や 顔を 洗う
手は 石けんを 使って
30秒くらい 洗う



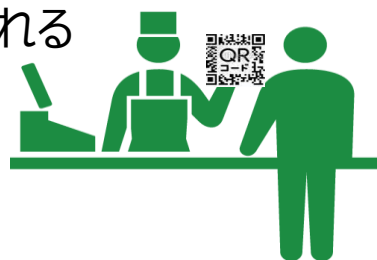
働きかたを 変える

家で 仕事をする
電車に 乗っている人が 少ない時間に
会社に行く



大阪コロナ追跡システム

あなたが 行った お店や イベントで
コロナの 病気に なった人が いたとき
メールで 知らせしてくれる
サービスを 使う



コロナウイルスの 病気を 広げないために お願いします

大阪府ホームページ : <http://www.pref.osaka.lg.jp/>

「新しい生活様式」の実践例

（１）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ☐ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - ☐ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - ☐ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ☐ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ☐ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ☐ 地域の感染状況に注意する。

（２）日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ☐ まめに手洗い・手指消毒 ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



（３）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- ☐ 通販も利用
- ☐ 1人または少人数ですいた時間に
- ☐ 電子決済の利用
- ☐ 計画をたてて素早く済ます
- ☐ サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ☐ レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- ☐ 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ☐ 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ☐ ジョギングは少人数で
- ☐ すれ違うときは距離をとるマナー
- ☐ 予約制を利用してゆったりと
- ☐ 狭い部屋での長居は無用
- ☐ 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- ☐ 会話は控えめに
- ☐ 混んでいる時間帯は避けて
- ☐ 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- ☐ 持ち帰りや出前、デリバリーも
- ☐ 屋外空間で気持ちよく
- ☐ 大皿は避けて、料理は個々に
- ☐ 対面ではなく横並びで座ろう
- ☐ 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ☐ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- ☐ 接触確認アプリの活用を
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（４）働き方の新しいスタイル

- ☐ テレワークやローテーション勤務 ☐ 時差通勤でゆったりと ☐ オフィスはひろびろと
- ☐ 会議はオンライン ☐ 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成